

# ちよだ歴史さんぽMAP

## 江戸・東京事件の現場めぐり

徳川家康入府によって世界随一の都市に発展した江戸は、今日に至るまで政治や経済の中核であり続ける。なかでも、皇居や国会議事堂を擁する千代田区は時代を象徴する政治的・社会的な事件が多発。時代の痕跡を見つけよう。



**馬場ストレーサーを巡る**  
九段北1-5にある「蘭の井戸」は、江戸後期の人気作家・曲亭馬場が、27〜58歳まで暮らした場所に残る井戸。馬場は、ここで今なお読み継がれる大ベストセラー『南総里八犬伝』(1842年完結)を執筆していた。

**三島由紀夫自決**  
1970年  
11月25日午前11時すぎ、日本刀を携えた作家・三島由紀夫は、橋の会(民間防衛組織)の会員とともに、市ヶ谷の陸上自衛隊東部方面隊監部に乗り込み、総監を監禁。バルコニーに出て、経済的繁栄を優先し開放した日本を非難し、軍隊専制に向けて自衛隊の決起を呼びかけたが、演説後、総監室にて自決した。



**番町血屋敷**  
JR有楽町線が清田通の橋を挟んで向かい側にある「番町」の名称は、歌舞伎や映画の題材として有名な怪談断片「番町血屋敷」のヒロインのお菊が、毒を振りまいて坂をのぼったことに由来する。フィクションではあるが、井戸に身を投げたお菊も近かったはず。

**赤坂離宮の変**  
1874年  
1月14日、新政府の実力者・岩倉具視は、高知県の士族9人に襲撃された。赤坂離宮(現・迎賓館赤坂離宮)からの逃走、暗殺未遂(現・紀尾井町)付近。幸い命に別状はなく、犯人たちは3日後に捕らえられ、死刑となった。この事件は、「番町血屋敷」をめぐる事件に起因するもので、後に不平士族らが各地で起こす反乱の先駆けともなった。

**1912年**  
乃木将軍、明治天皇の大喪の日に殉死  
乃木将軍は、明治天皇の大喪の日に殉死した。この事件は、皇居周辺の歴史を語る上で重要な出来事である。



- ### 丸の内・皇居東御苑コース
- スタート 大手町駅
- 伊達騒動 (1671年) → A3
  - 江戸無血開城 (1868年) → A10
  - 松之大廊下刃傷事件 (1701年) → A4
  - 明暦の大火 (1657年) → A2
  - 江島・生島事件 (1714年) → A5
  - 竹橋事件 (1878年) → A12
  - ビートルズがやってきた! (1966年) → B10
  - 和宮降嫁 (1861年) → A8
- ゴール 九段下駅

- ### 日比谷・霞が関コース
- スタート JR東京駅
- 東京駅宰相襲撃事件 (1921, 1930年) → B1
  - 進駐車来たる (1945年) → B5
  - 鹿鳴館完成 (1883年) → A13
  - 浅沼稲次郎暗殺事件 (1960年) → B7
  - 桜田門外の変 (1860年) → A7
  - 警視庁占拠・二・二六事件 (1936年) → B3
  - 安保闘争 (1960年) → B8
  - 犬養毅暗殺 / 五・一五事件 (1932年) → B2
- ゴール 国会議事堂前駅

- ### コース外の事件現場
- 徳川家康江戸入府 (1590年) → A1
  - お玉ヶ池種痘所設立 (1858年) → A6
  - 坂下門外の変 (1862年) → A9
  - 紀尾井坂の変 (1878年) → A11
  - 宮城事件 (1945年) → B4
  - 皇太子様・美智子様ご成婚パレード (1959年) → B6
  - 東海道新幹線開通 (1964年) → B9



江戸時代の読売  
深層をひびいて静を思し、お上への批判や進行心中、仇討ち、殿中での事件など、巧みな語りで盛り上げた。

### 地図凡例

- (双葉マーク) 発祥の地を示しています
- 説明板のある史跡
- 説明板のない史跡
- JR線
- 東京メトロ銀座線
- 東京メトロ丸ノ内線
- 東京メトロ日比谷線
- 東京メトロ東西線
- 東京メトロ千代田線
- 東京メトロ有楽町線
- 東京メトロ半蔵門線
- 東京メトロ南北線
- 都営浅草線
- 都営三田線
- 都営新宿線
- 都営大江戸線
- トイレ
- 美術館・博物館
- 歴史的建造物
- 神社
- 佛寺
- 病院
- インフォメーションセンター
- ホテル
- 警察署・交番
- 郵便局